

久しぶりの雪景色(1/7)



おらが湊鐵道応援団報

第178号

勝田 | 阿字ヶ浦

2年ぶりに初詣・初日の出列車運行

あじがうら号・なかみなと号に約300名乗車

昨年は新型コロナウイルスの感染急拡大で、直前に中止になった初日の出・初詣列車の運行が、元日に応援団と海浜鉄道の共同企画で2年ぶり14回目で実施されました。勝田発5時30分の急行あじがうら号の3輛と、後続の快速なかみなと号(2輛)には合わせて約300名が乗車、あじがうら号の車内では、今年も市内の企業や団体の協力で、干し芋や無料入湯券、みなとちゃん缶バッジ、携帯カイロなどが「開運福袋」としてプレゼントされました。



磯崎海岸の初日の出



あじがうら号の入線待乗客のみなさん



堀出神社に初詣



磯崎海岸で初日の出を待つ



湊御殿の松と初日の出

ご協力ありがとうございました!

酒列磯前神社・堀出神社・ほしいも神社・榎原神社・天満宮・四郎介稲荷・和奏・茨城中央ほしいも協同組合・ホテルニュー白亜紀・ひたちなか商工会議所(順不同・敬称略)

応援団結成15周年

おらが湊鐵道応援団が、2007年(平成19年)1月23日の結成から15周年を迎えました。

廃線の危機に対して「乗って残そう湊線」をスローガンにして、那珂湊地区の自治会、商工会議所関係団体、地元三高校(当時)など42団体で構成する応援団が結成されて以来、地元の強力な存続運動と市県の支援により存続が決定し、2008年4月1日に海浜鉄道が発足しました。

さらに東日本大震災による2度目の危機でも沿線地域の皆様から力強いご支援ご協力をいただきました。

現在も自治会などによる各駅の環境整備、おさかな市場や商店街による乗車特典サービス、各団体による湊線利用促進など鉄道と地域が一体化した日頃の活動に改めて感謝申し上げます。

応援団では15周年を記念して、これまでの活動を振り返る記念誌の発行などを計画しています。

駅的环境整備ありがとうございます

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、マスクの着用・検温等、感染対策を十分にした上での実施をお願い致します。

駅名	2月6日(日)	3月6日(日)
中根	柳沢美田多・相金・三反田班	
高田の鉄橋	柳が丘・関戸町・田中町自治会	
那珂湊	釈迦町 幸町 湊泉町	小川 龍之口町
殿山	和田町・殿山町	七丁目・牛久保町
平磯	平磯・平磯清水町自治会	
磯崎	磯崎町自治会	
阿字ヶ浦	阿字ヶ浦自治会	

※朝8:30(中根駅と、高田の鉄橋駅は8:00)から実施します。

湊線沿線の「いま」がわかる! 応援団facebookページ「いいね!」9,290名を達成しました!

【海浜鉄道関係】

◇ホームページ <http://www.hitachinaka-rail.co.jp/>
◇ツイッター <http://twitter.com/minatoline>

【応援団関係】

◇フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
◇ツイッター <http://twitter.com/keha601>
◇応援団HP <http://minatosen.com>(湊線どっと混む)

※「ひたちなか海浜鉄道」「おらが湊鐵道応援団facebook」でそれぞれ検索もできます。

ローカル鉄道・地域づくり大学 スクール2年半ぶりに開催



1月15日から16日までの2日間、観光庁「既存観光拠点の再生・高付加価値化」実証事業の一環として、ローカル鉄道・地域づくり大学ウインタースクールが開催されました。

参加者数は約50名。前回のサマースクールから2年半を経過していましたが、相変わらずの活気に満ちた講座となりました。

2日目には、津波注意報発令によりフィールドワークを中止、会場も急遽市役所会議室に変更するというハプニングもありましたが、事業者、研究者、市民及び行政、女子鉄、業界に参入した他業種といった幅広い視点からのレクチャーは、まさに「目から鱗」。

ローカル線が地域の観光振興、地域活性化の貴重なアイテムとなりうることをあらためて実感した2日間となりました。

(海浜鉄道・吉田千秋)

野菜&海産物の朝市

■2月6日(日) 午前9時~11時頃まで
■那珂湊駅1番線ホーム
※ホームへの入場は無料です。



マスクの着用等、感染対策をしてご来場ください。

新型コロナウイルス終息までともに頑張りましょう!

アフターコロナに向けての 新たな経営基盤づくりに注力

ひたちなか海浜鉄道 社長 吉田千秋

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年の湊線は、収まりを見せない新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、底を脱した感はあるものの、令和2年に続いて厳しい情勢の1年となりました。

ご利用状況は、昨年10月以降、徐々に回復基調にはありましたが、年が明けてからのオミクロン株感染急拡大もあり、再び悪化しているのが現状です。

こうした中、鉄道業界は「在宅ワークの普及等で、コロナ収束後も利用者は以前の水準には戻らない。今後は鉄道及び沿線の付加価値を創出することにより経営の安定を図るべき。」として、今後の生き残りをかけて新たな視点に立って経営努力を続けることを共通認識としています。

湊線においては、昨年に引き続き、鉄道ファンだけでなく幅広い皆さんに喜んでいただいている車庫見学や鉄道の貸切運行、ご利用実績が出始めたふるさと納税との連携(返礼品として、列車貸切などの特典を用意)、沿線の特産品や観光施設との連携強化など、さらに市民のみならず行政と力を合わせた施策を推し進める所存です。

実際、観光庁の実証事業「既存観光拠点の再生・高付加価値化」の一環として1月15~16日に開催されたローカル鉄道・地域づくり大学ウインタースクールには、想定を上回る参加希望者があり、湊線がひたちなか市の高付加価値化や集客のアイテムとして有望であることも実証されました。

通勤や観光については、かつてのようなご利用は見込めないものと思われませんが、こうした新規アイデアや皆様からのご協力により、開業以来の社是である「市民協働による鉄道と地域の一体化した再活性化」に資する施策をさらに進めることで、明るい将来像が見えてくると考えております。

本年の目標は、アフターコロナに向けての経営基盤づくり。地域鉄道とまちの元気回復のため、さらなるご支援をよろしくお願いいたします。

冬バージョンの応援券と硬券フリー切符を発売中

2月28日まで、湊線応援企画の「湊線応援券」と「特製硬券1日フリー切符」の冬バージョンを那珂湊駅と勝田駅湊線窓口で販売しています。

セット価格は1,000円です。切符は特大の「D型倍寸硬券」で、旧型車の4連走行のイラストが描かれています。また応援券は、オーロラの夜空の下を走る湊線のイメージ写真です。

四季毎に発行される応援券4種類を揃え、那珂湊駅窓口で呈示された方にはプレゼントを差し上げています。※フリー切符には当分の間、旧価格が印刷されています。



「乗車証明書」でおトク!

★乗車証明書は、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する乗車特典のサービスです。証明書を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられます(スタンプ当日限り有効)。現在沿線100店(施設)近くが参加し、お買物や宿泊などで優待があります。

★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。

★参加店は那珂湊駅待合室に置かれたチラシ、証明書に印刷されたQRコード、海浜鉄道HPまたは応援団facebookページでご確認ください。

★乗車証明書裏面に印刷されたQRコードで湊線時刻表と応援団facebookページも確認できます。



「応援団報」カラー版をパソコンで <http://minatosen.com> 《湊線どっと混む》